

令和 8 年

安全功勞者内閣総理大臣表彰

令和 8 年 7 月 1 日

内閣府大臣官房総務課

令和8年安全功労者内閣総理大臣表彰受賞者名簿

(分野別五十音順)

(交通安全関係)

〔個人〕

有本	八千代	(警察庁)
金福	照明	(内閣府)
亀岡	敏彦	(内閣府)
木原	光資	(警察庁)
田口	隆治	(国土交通省)
田村	道雄	(警察庁)
中舘	克隆	(警察庁)
西山	勇	(警察庁)
菱谷	龍二	(警察庁)

〔団体〕

沖縄市交通安全母の会	(内閣府)
光が丘地区交通安全母の会	(内閣府)

(学校安全関係)

〔団体〕

茨城県立境特別支援学校	(文部科学省)
鹿児島県鹿児島市立武小学校	(文部科学省)
千葉県立市原八幡高等学校	(文部科学省)
福岡県新宮町立新宮東中学校	(文部科学省)
北海道音更認定こども園	(文部科学省)

(産業安全関係)

〔個人〕

小川 武史	(経済産業省)
-------	---------

〔団体〕

株式会社ニッパ本社工場	(厚生労働省)
-------------	---------

(火災予防関係)

〔個人〕

阪 本 緑 (消 防 庁)

佐々木 喜代枝 (消 防 庁)

〔団体〕

安中市女性防火クラブ (消 防 庁)

一般財団法人宮崎県消防設備協会 (消 防 庁)

大川市女性防火クラブ (消 防 庁)

和木こども園幼年消防クラブ (消 防 庁)

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	警 察 庁
氏 名	ありもと やちよ 有 本 八千代
住 所	新潟県加茂市
主 要 経 歴 等	一般財団法人加茂地区交通安全協会副会長
功 績 の 概 要	<p>平成 11 年から 27 年の長期にわたり、田上自動車学校長、（一財）加茂地区交通安全協会副会長、（一社）新潟県安全運転管理者協会理事などの要職に就き、各種交通安全運動として、自治体、警察署等との連携を図りながら、交通指導所などで率先して先頭に立ち、地域の交通安全思想の普及に努めている。</p> <p>また、春、秋の全国交通安全運動において、行政機関や警察等と連携して、街頭指導所を開設し、国道 403 号線を進行する車両のドライバーに対して、啓発資料を手渡しながら交通事故防止を呼び掛けるなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	内 閣 府
氏 名	かねふく てるあき 金 福 照 明
住 所	山口県熊毛郡平生町
主 要 経 歴 等	柳井交通安全協会会長
功 績 の 概 要	<p>昭和 48 年から 53 年の長期にわたり、平生交通安全協会（現 柳井交通安全協会）会長等として、通学児童等の交通安全を守るため、通学路における登校時の交通立哨で児童を見守るなど、地道な交通安全活動を継続してきた。</p> <p>また、地元の大規模行事において主催者側に交通安全対策に関する助言を行っているほか、通学児童等に対して交通安全啓発活動を行うなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

[交通安全関係]

関 係 省 庁	内 閣 府
氏 名	かめおか としひこ 亀 岡 敏 彦
住 所	福島県伊達市
主 要 経 歴 等	福島県交通教育専門員連絡協議会副会長
功 績 の 概 要	<p>昭和 61 年から 40 年の長期にわたり、保原町の交通指導員（平成元年に交通教育専門員と改称）として地域の交通安全行事に従事し、通学路での街頭指導や児童・生徒に対する安全指導を始めとして、住民に交通事故防止を呼び掛けるなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。</p> <p>また、平成 25 年から福島県交通教育専門員連絡協議会の副会長として会長を補佐し、総会や研修会の円滑な運営に貢献することで、県内専門員における意識高揚及び交通安全思想の普及に重要な職責を継続して担っている。</p>

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	警 察 庁
氏 名	きはら こおし 木 原 光 資
住 所	東京都世田谷区
主 要 経 歴 等	王子交通安全協会会長
功 績 の 概 要	<p>昭和 50 年から 51 年の長期にわたり、「交通事故で悲しむ人を無くす」との強い思いから、交差点配置などの街頭活動や交通安全チラシを配布するなどの交通事故防止活動を積極的に推進し、運転者や住民等に交通安全を広く呼び掛けている。</p> <p>また、王子交通安全協会会長就任後は、「安心・安全な街 王子」の実現に向け、通学路や幹線道路を中心とした街頭配置を自らも行き、時には巡回を行って配置員を激励、慰労するなど街全体の交通安全の気運を高めるなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	国土交通省
氏 名	たぐち たかじ 田 口 隆 治
住 所	大分県中津市
主 要 経 歴 等	主任海上安全指導員
功 績 の 概 要	<p>昭和 57 年 11 月 29 日、海上安全指導員に指名されて以来、現在に至るまで 43 年間の長きにわたり、ボランティアとしてプレジャーボート等の小型船舶を中心に安全指導を行うとともに、海難防止講習会など海難事故防止に係る教育にも積極的に参画し、運航マナーの向上と安全で秩序ある海洋レクリエーションの発展に寄与してきた。</p> <p>また、平成 9 年に主任海上安全指導員に指名され、現在に至るまで豊富な経験と知識及び指導力をもって海難防止活動を積極的に推進し、小型船舶の海難防止及び安全思想の普及に努めるとともに、後進の育成にも多大なる貢献を果たしてきた。</p>

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	警 察 庁
氏 名	たむら みちお 田 村 道 雄
住 所	山形県山形市
主 要 経 歴 等	山形地区安全運転管理者協議会会長
功 績 の 概 要	<p>平成4年から34年の長期にわたり、山形地区安全運転管理者協議会会長等として、地区安管加盟事業所の安全運転管理者を対象とした講習会（勉強会）、エコドライブコンテスト、安管事業所の若年ドライバー研修会、ベテランドライバー研修会、地区安管ブログの立ち上げ等を企画、立案、実施を行った。</p> <p>また、（一社）山形県安全運転管理者協会副会長として、各種行事に出席し、交通事故防止コンクール、無事故無違反チャレンジ、ブラッシュアップセミナー、各種表彰選考等を行うなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。</p> <p>また、内閣府中央交通安全対策会議専門委員として、令和8年度から実施される「第12次交通安全基本計画」の会議に参画して意見を述べるなど、交通安全の推進に向けた中心的な役割を担っている。</p>

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	警 察 庁
氏 名	なかだて かつたか 中 館 克 隆
住 所	北海道名寄市
主 要 経 歴 等	名寄地区安全運転管理者協会会長
功 績 の 概 要	<p>平成3年に中館建設株式会社の安全運転管理者に選任されて以来、35年以上にわたり人命尊重・安全運転を基本方針として、事業所における交通事故防止対策に尽力してきた。計画的な運転管理者教育及び具体的な安全運転指導を継続的に実施し、従業員の安全運転意識の向上と事故防止に大きく貢献した。</p> <p>また、平成6年から32年の長期にわたり、名寄地区安全運転管理者協会会長等として、警察署や自治体等の関係機関と緊密に連携を図りながら、管内事業所に対する交通事故防止活動の推進、安全意識の高揚に努めるなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	警 察 庁
氏 名	にしやま いさむ 西 山 勇
住 所	石川県金沢市
主 要 経 歴 等	金沢西交通安全協会会長
功 績 の 概 要	<p>平成7年から31年の長期にわたり、金沢西交通安全協会会長等として、年間を通じて「高齢者とこどもの交通事故防止対策の効果的な推進」について取り組んでおり、新入学児童に対するランドセルカバー等の贈呈、管内の交通少年団を活用した交通安全キャンペーンの実施、オリジナル反射材グッズの作成及び高齢者への反射材の配布を行うなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。</p> <p>また、平成3年から34年間の長きにわたり、地域交通安全活動推進委員として、街頭活動等を様々な活動を通じて、地域住民の交通安全に対する意識の高揚を図っており、交通事故防止に多大な貢献をしている。</p>

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	警 察 庁
氏 名	ひしたに りょうじ 菱 谷 龍 二
住 所	香川県木田郡三木町
主 要 経 歴 等	高松東安全運転管理者協議会副会長
功 績 の 概 要	<p>昭和 60 年から 41 年の長期にわたり、高松東安全運転管理者協議会副会長等として、所管事業所等に対して交通安全関係団体等が推進する各種交通安全運動への積極的な参加を促進し、団体相互の調整役を担ったほか、安全運転管理者の資質向上のための各種講習会、研究会の受講促進に尽力するなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	内 閣 府
名 称	おきなわしこうつうあんぜんははのかい 沖縄市交通安全母の会
所 在 地	沖縄県沖縄市
代 表 者	おくま ゆきえ 会長 奥間 由紀江
功 績 の 概 要	<p>「交通安全は家庭から」をスローガンに地元警察署、市役所、学校などの関係機関・団体と連携を図り、各季（春、夏、秋及び年末年始）の交通安全運動開始式への参加や各種交通安全啓発イベント等に積極的に参加し、組織ぐるみで交通安全対策を推進してきた。</p> <p>また、新入学児童に対するオリジナルの交通安全クリアファイルの贈呈、通学路における早朝の街頭活動及び会員に対する交通安全講話の実施等、幅広く交通安全に係る取組を行うなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	内 閣 府
名 称	ひかりがおかちくこうつうあんぜんははのかい 光が丘地区交通安全母の会
所 在 地	神奈川県相模原市
代 表 者	たなか ゆき 会長 田中 友紀
功 績 の 概 要	<p>地元警察、交通安全協会や自治会連合会、地域の学校等の団体と密接な連携を図りながら、地域の実情（自転車事故や高齢者事故）などに即した交通安全活動に積極的に取り組み、組織ぐるみの交通安全対策を推進している。</p> <p>子供から高齢者までの交通事故防止対策の推進、飲酒運転根絶活動、自転車の乗り方やルール、道路交通法改正のお知らせなどを機関誌で地域の方に周知するなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。</p> <p>また、「交通安全は家庭から」を合言葉に、家庭からの声掛けのほか、各会員が交通安全のルールを守る手本となるよう実践している。</p>

功 績 概 要

〔学校安全関係〕

関 係 省 庁	文部科学省
名 称	いばらきけんりつきかいとくべつしえんがっこう 茨城県立境特別支援学校
所 在 地	茨城県猿島郡境町
代 表 者	はやし こういち 校長 林 孝一
功 績 の 概 要	<p>「安心・安全な学校づくりの推進」の目標の下、災害時における防災体制の確立を目指し、学校全体で学校安全に関する共通理解を図り、教育活動に取り組んでいる。</p> <p>地域の関係機関と連携した「交通安全教室」や「学校防災連絡会議」の開催、「心肺蘇生法研修」等の校内職員研修の充実、家庭や医療と連携した「緊急時持ち出しバッグ」や「大規模災害に係る薬の預かり」「引き渡し訓練」「PTA主催の普通救命講習」の実施、関係機関や自衛隊と連携した「避難所設営体験」や「非常食体験」、「煙体験」等の安全教育の工夫、「VR・ARを活用した災害体験」や「起震車体験」、防災校外学習等の防災教育の強化等により、安全教育の推進及び安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

〔学校安全関係〕

関 係 省 庁	文部科学省
名 称	かごしまけんかごしましりつたけしょうがっこう 鹿児島県鹿児島市立武小学校
所 在 地	鹿児島県鹿児島市
代 表 者	にしこくばる まなぶ 校長 西國原 学
功 績 の 概 要	<p>「安心・安全な学校環境と人権尊重の精神」を学校経営の基盤とし、学校安全全体・指導計画に基づき、子供自ら自他の生命を守り、安全な生活を送るために必要な能力や実践的態度を育ててきた。</p> <p>児童会活動で各委員会が創意工夫した活動を展開し、子供自ら安全意識を高め、進んで自他の安全を守る態度が育ってきた。</p> <p>教職員は安全指導計画を PDCA サイクルで評価・改善し、実効性のある内容へと進化させ、研修においても、子供の安全を最優先に考えた工夫を重ねている。</p> <p>家庭・地域との連携では、スクールゾーン委員会や学校保健委員会等で積極的に情報交換を行い、子供の安全確保の視点をもって地域の課題解決に連携して当たっているなど、安全教育の推進及び安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

〔学校安全関係〕

関 係 省 庁	文部科学省
名 称	ちばけんりついちにはらやわたこうとうがっこう 千葉県立市原八幡高等学校
所 在 地	千葉県市原市
代 表 者	いけべ のりひこ 校長 池邊 憲彦
功 績 の 概 要	<p>教育目標の1つである「多様な社会の変化に対応し、自ら未来を切り拓く確かな学力を身につけ、個性や創造性に富む人間を育成する。」のもと、自助、共助の意識を高める実践的な防災教育の推進を目指し、教育課程上に位置づけた学校設定教科「防災の学び」における計画的な授業実践を通して、学校安全教育の推進に多大な貢献をした。また、学習の成果を地域に還元する取組として、「防災の学び」の中で作成した防災双六を近隣の小学校に配付している。</p> <p>また、例年、年間行事に組み込み、近隣の千葉県消防学校や防災研修センターと連携した防災研修や実技体験、AED研修会等を実施している。さらに、災害ボランティアセンター設置運営訓練や飲酒運転撲滅活動等の取組を実施するなど、安全教育の推進及び安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

〔学校安全関係〕

関 係 省 庁	文部科学省
名 称	ふくおかけんしんぐうちょうりつしんぐうひがしちゅうがっこう 福岡県新宮町立新宮東中学校
所 在 地	福岡県糟屋郡新宮町
代 表 者	おおしま ひろみつ 校長 大島 弘光
功 績 の 概 要	<p>教育目標「郷土“しんぐう”とつながり、矜持と志をもって、未来を生き抜く生徒の育成」の下、生徒・地域・保護者・教職員が、共に学び、共に築き、共に鍛える中学校を目指し、防災教育と人権教育を基盤に据え、諸教育活動を推進し、その充実を図った。特に、学校安全に関する指導に関しては、1年生の総合的な学習の時間を中心とした「防災学習」、引渡し訓練をはじめとした実効的で地域と連携した避難訓練や学校行事、防災の視点を関連付けた「授業づくり」などを行うことにより、カリキュラム・マネジメントによる学校における持続可能な防災教育の推進を行い、その成果を県内に発信するなど、安全教育の推進及び安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。また、今年度からは、令和7・8年度福岡県学校給食研究指定の委嘱を受け、食と防災を関連付け、防災の視点に立った食に関する指導の研究に取り組み、防災教育の一層の充実を図ろうとしている。</p>

功 績 概 要

〔学校安全関係〕

関 係 省 庁	文部科学省
名 称	ほっかいどうおとふけにんていこどもえん 北海道音更認定こども園
所 在 地	北海道河東郡音更町
代 表 者	しらき ゆきひさ 園長 白木 幸久
功 績 の 概 要	<p>教育目標「やさしく かしこく たくましく 生きる力の基礎づくり」の下、「安心安全な環境のなかで、自ら安全に気を付けて動ける子ども」を目指し、「カードキーによる登降園システム」「安全ゾーンの設置」など小学校以上に厳しく「安心安全な環境づくり」を最優先課題として安全管理に取り組んできた。令和2年度には新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策に関連した「安心安全な環境づくり」が強く求められ、6月の通常再開に向けて「新こども園生活スタイル」を園独自に作成し、各種訓練や日常的な安全指導の仕方を見直しながら実施するなど、安全教育の推進及び安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

〔産業安全関係〕

関 係 省 庁	経済産業省
氏 名	おがわ たけし 小 川 武 史
住 所	東京都狛江市
主 要 経 歴 等	青山学院大学名誉教授
功 績 の 概 要	<p>産業構造審議会 保安・消費生活用製品安全分科会委員、同審議会 高圧ガス小委員会委員長を歴任。</p> <p>特に令和4年の高圧ガス保安法の改正では、テクノロジーを活用しつつ、自立的に高度な保安を確保できる事業者について、安全確保を前提にその保安確保能力に応じて保安規制にかかる手続・検査を合理化する認定高度保安実施者制度の創設に尽力した。具体的には、当該制度により、AIやIoT等最先端のデジタル技術を活用した安全管理や保守を高度化・効率化する取り組み、いわゆるスマート保安を導入する大きな契機となり、テクノロジーを活用した自己リスク管理の高度化を促進することにより、労働災害の防止及び産業安全の向上に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

〔産業安全関係〕

関 係 省 庁	厚生労働省
名 称	かぶしきがいしゃにつば ほんしゃこうじょう 株式会社ニッパ 本社工場
所 在 地	静岡県磐田市
代 表 者	みしま くにひこ 取締役社長 三島 邦彦
功 績 の 概 要	<p>平成 23 年 2 月 16 日より 14 年 11 ヶ月間の無災害を継続しており、第 1 種無災害記録 390 万時間を令和 5 年 11 月 20 日に達成している。</p> <p>「意識」・「行動」・「環境」の三面から、「安全の日」を設定している。社内の安全活動を「The ニッパの安全活動」とし、各階層の行動指針を明確化して安全活動を推進している。安全意識の維持のため、安全集会において全社にトップメッセージを定期発信し、小集団でのミーティングによる安全意識のフォローアップを実施している。また、週 4 回、トップを含めた安全巡回を行い、その結果を踏まえた職場改善をやり切る活動を実施し、緊張感の持続、現場環境・作業の改善指導をするなど、労働災害の防止及び産業安全の向上に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

[火災予防関係]

関 係 省 庁	消 防 庁
氏 名	さかもと みどり 阪 本 緑
住 所	大阪府吹田市
主 要 経 歴 等	吹田市家庭防火クラブ連絡協議会会長
功 績 の 概 要	<p>平成7年4月、吹田市上山手町婦人防火協力会会長に就任して以来、豊富な識見と卓越した指導力により会の育成発展に尽くした。</p> <p>さらに、平成9年4月から各防火協力会の会長で構成された吹田市婦人防火協力会連絡協議会（現吹田市家庭防火クラブ連絡協議会）の会計監査に、平成12年4月からは副会長、平成16年4月からは会長に就任し、会員及び役員として43年以上の長きにわたり、家庭防火の精神を基調に強い責任感と指導力を発揮して活躍するなど、火災予防活動及び火災予防思想の普及・高揚に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

[火災予防関係]

関 係 省 庁	消 防 庁
氏 名	ささき きよえ 佐々木 喜代枝
住 所	千葉県千葉市
主 要 経 歴 等	千葉県女性防火クラブ連絡協議会会長
功 績 の 概 要	<p>平成4年から平成24年3月まで千葉市消防団員として活動。同団を退団後、発起人となり平成24年4月に「女性消防クラブひまわり」を設立し、会長として現在も活動を継続しており、地域における防火・防災の普及啓発に尽力している。</p> <p>平成24年から「千葉市少年女性防火委員会」理事、平成29年5月に「千葉県女性防火クラブ連絡協議会」副会長、令和7年5月には「同連絡協議会」会長に就任した。</p> <p>就任以来、豊富な識見と卓越した指導力により会の育成発展に尽力するとともに、研修会や各種災害訓練に積極的に参加するなど、本県の消防・防災の指導者として活動しており、火災予防活動及び火災予防思想の普及・高揚に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

[火災予防関係]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	あんなかしじょせいぼうかくらぶ 安中市女性防火クラブ
所 在 地	群馬県安中市
代 表 者	ひろかみ ちはる 本部長 広上 千春
功 績 の 概 要	<p>昭和 58 年 4 月、各家庭の防火責任者を担う女性が、火災予防の推進と防火思想の普及徹底を目的に結成。以来、初期消火活動や防火対策・心肺蘇生法の重要性を認識し、消火器の取扱や普通救命などの訓練や住宅用火災警報器の普及啓発活動など、火災予防活動及び火災予防思想の普及・高揚に多大な貢献をした。</p> <p>また、安中市消防隊の一員として、消防団等の訓練に積極的に参加し、炊き出し訓練や避難所運営訓練などの、地域防災のリーダーとして万が一の場合に対応できるよう訓練を行っている。</p>

功 績 概 要

[火災予防関係]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	いっばんざいだんほうじん みやざきけんしょうぼうせつびきょうかい 一般財団法人 宮崎県消防設備協会
所 在 地	宮崎県宮崎市
代 表 者	しまだ ひろよし 理事長 島田 博良
功 績 の 概 要	<p>昭和52年6月、前身である財団法人宮崎県消防設備保守協会として設立され、以来今日まで、火災による県民の生命身体の安全確保及び財産の被害軽減を図り、もって公共の福祉の増進に寄与することを目的に、消防用設備等の設置及び維持管理の適正化や、消防用設備等関連業務に携わる消防設備士及び消防設備点検資格者等の資質の向上等の育成指導、防火対象物関係者への啓発、各種防災活動への参加等の各種事業を展開するなど、火災予防活動及び火災予防思想の普及・高揚に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

[火災予防関係]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	おおかわしじょせいぼうかくらぶ 大川市女性防火クラブ
所 在 地	福岡県大川市
代 表 者	かわの えみこ 会長 川野 栄美子
功 績 の 概 要	<p>平成元年2月15日に、婦人層の防火意識の高揚と防火思想の普及を図るべく結成された。</p> <p>結成以降、大川市総合防災訓練をはじめ、秋季火災予防運動に伴う火災予防街頭広報、大川市消防出初式等の行事に参加。また、市内婦人層への呼びかけを行うことで、家庭での防火、防災意識の高揚に大いに貢献しているほか、福岡県女性防火クラブ連絡協議会に参加し、他市町村の女性防火クラブとの情報交換に努めるなど、火災予防活動を通じて火災予防思想の普及啓発と市民の防火意識の高揚に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

[火災予防関係]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	わきこどもえんようねんしょうぼうくらぶ 和木こども園幼年消防クラブ
所 在 地	山口県玖珂郡和木町
代 表 者	きしもと きょうこ 会長 岸本 京子
功 績 の 概 要	<p>平成 14 年 10 月、町内の未就学児が一堂に集う唯一の保育園で幼児期における火災予防思想の普及啓発を目的に結成以来、長年にわたり地域の防火思想の基礎形成を担ってきた。幼少期に培われた防火意識は、学童期・生徒期を経て地域住民として成熟し、地域全体の防火水準の底上げ、火災予防思想の高揚と同町の火災件数の減少に多大な貢献をしている。</p> <p>同クラブの活動を通じて各家庭に防火に関する情報が波及することで、大人の防火意識にも変革をもたらし、火気の安全管理、暖房器具の使用、住宅用火災警報器の設置・点検など、具体的な防火行動の実践へと結びつけるなど、火災予防活動及び火災予防思想の普及・高揚に多大な貢献をした。</p>

(連絡先)

内閣府大臣官房総務課制度室（公式制度担当）

〒100-8914

東京都千代田区永田町1-6-1

TEL 03-5253-2111（内30941）